



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・ ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第192期 決算日 2024年10月15日

第193期 決算日 2024年11月13日

第194期 決算日 2024年12月13日

第195期 決算日 2025年1月14日

第196期 決算日 2025年2月13日

第197期 決算日 2025年3月13日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）」は、2025年3月13日に第197期の決算を行いましたので、第192期、第193期、第194期、第195期、第196期、第197期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 込配 分	み 期 騰 落	額 中 率	債券 組入 比率	債券 先物 比率	純資 産額
168期(2022年10月13日)	3,916		15	△0.2	98.5	—	24,254
169期(2022年11月14日)	3,719		15	△4.6	98.7	—	22,470
170期(2022年12月13日)	3,714		15	0.3	99.0	—	22,328
171期(2023年1月13日)	3,640		15	△1.6	99.2	—	21,676
172期(2023年2月13日)	3,648		15	0.6	99.0	—	21,515
173期(2023年3月13日)	3,733		15	2.7	99.3	—	21,710
174期(2023年4月13日)	3,945		15	6.1	99.3	—	22,810
175期(2023年5月15日)	4,042		15	2.8	98.9	—	23,042
176期(2023年6月13日)	4,231		15	5.0	98.7	—	23,711
177期(2023年7月13日)	4,266		15	1.2	99.3	—	23,194
178期(2023年8月14日)	4,420		15	4.0	99.8	—	23,099
179期(2023年9月13日)	4,464		15	1.3	99.4	—	23,185
180期(2023年10月13日)	4,457		15	0.2	98.6	—	23,152
181期(2023年11月13日)	4,663		15	5.0	98.5	—	24,132
182期(2023年12月13日)	4,471		15	△3.8	98.3	—	22,894
183期(2024年1月15日)	4,584		15	2.9	98.9	—	23,157
184期(2024年2月13日)	4,632		15	1.4	98.7	—	23,179
185期(2024年3月13日)	4,579		15	△0.8	98.5	—	22,683
186期(2024年4月15日)	4,620		15	1.2	98.8	—	22,853
187期(2024年5月13日)	4,658		15	1.1	98.8	—	22,978
188期(2024年6月13日)	4,454		15	△4.1	98.3	—	21,637
189期(2024年7月16日)	4,500		15	1.4	99.3	—	21,427
190期(2024年8月13日)	4,149		15	△7.5	99.3	—	19,585
191期(2024年9月13日)	3,901		15	△5.6	99.1	—	18,312
192期(2024年10月15日)	4,151		15	6.8	99.0	—	19,404
193期(2024年11月13日)	4,179		15	1.0	99.5	—	19,415
194期(2024年12月13日)	3,948		15	△5.2	99.1	—	17,968
195期(2025年1月14日)	4,012		15	2.0	98.9	—	18,196
196期(2025年2月13日)	4,188		15	4.8	99.6	—	18,819
197期(2025年3月13日)	4,013		15	△3.8	99.6	—	17,810

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第192期	(期 首) 2024年9月13日	3,901	—	—	99.1	—	—
	9月末	4,080	4.6	—	98.7	—	—
	(期 末) 2024年10月15日	4,166	6.8	—	99.0	—	—
第193期	(期 首) 2024年10月15日	4,151	—	—	99.0	—	—
	10月末	4,147	△0.1	—	99.3	—	—
	(期 末) 2024年11月13日	4,194	1.0	—	99.5	—	—
第194期	(期 首) 2024年11月13日	4,179	—	—	99.5	—	—
	11月末	3,898	△6.7	—	98.8	—	—
	(期 末) 2024年12月13日	3,963	△5.2	—	99.1	—	—
第195期	(期 首) 2024年12月13日	3,948	—	—	99.1	—	—
	12月末	3,946	△0.1	—	98.1	—	—
	(期 末) 2025年1月14日	4,027	2.0	—	98.9	—	—
第196期	(期 首) 2025年1月14日	4,012	—	—	98.9	—	—
	1月末	4,104	2.3	—	99.5	—	—
	(期 末) 2025年2月13日	4,203	4.8	—	99.6	—	—
第197期	(期 首) 2025年2月13日	4,188	—	—	99.6	—	—
	2月末	4,028	△3.8	—	98.5	—	—
	(期 末) 2025年3月13日	4,028	△3.8	—	99.6	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

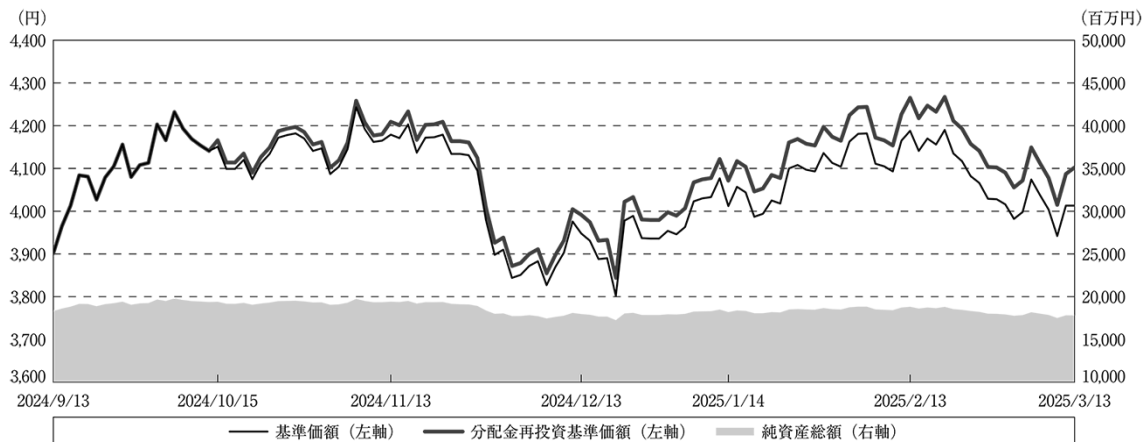
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年9月14日～2025年3月13日)



第192期首：3,901円

第197期末：4,013円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：5.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。

公社債利金を手堅く確保したほか、ブラジルリアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行（BCB）が約2年ぶりに利上げに転じ、その次の会合では利上げのペースを加速させたことから、利回りは上昇しました。

期の半ばは、ブラジルのアダジ財務相が今後数年間の公共支出削減計画や高所得者への増税を提案する一方、低所得層への所得税免除拡大も発表したことから、市場では財政健全化の取り組みに対して懐疑的な見方が広がったため、利回りは上昇しました。また、BCBが大幅な利上げを実施したことも、利回りの上昇要因となりました。

期の後半は、2024年の基礎的財政収支（プライマリーバランス）について、国内総生産（GDP）比で大規模洪水の影響を除くと、税収の大幅な伸びにより政府目標をほぼ達成したとみられたことなどから、ブラジルの財政健全化に対する期待が高まると、利回りは低下（価格は上昇）しました。

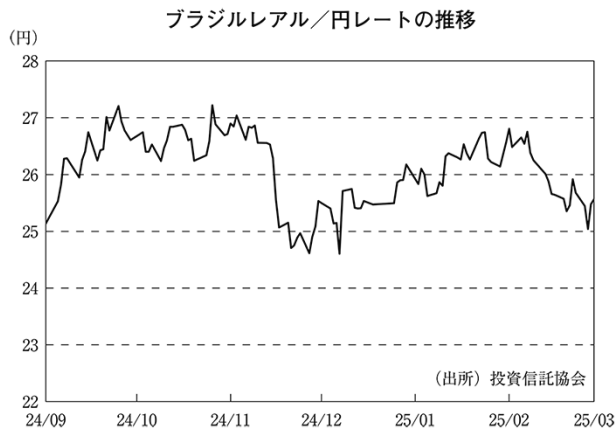


当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、BCBの利上げなどを背景に、リアル高・円安が優勢となりました。また、格付け会社がブラジルの格付けを引き上げたことも、リアル高・円安の要因となりました。

期の半ばは、ブラジル政府による低所得層への所得税免除拡大の発表を受けて、ブラジルの財政健全化に対する懸念が強まるなか、リアル安・円高が進みました。また、東京都都区部消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことで、2024年12月に日銀が利上げに踏み切るのではないかとの思惑が強まったことも、リアル安・円高の要因となりました。

期の後半は、BCBが大幅な利上げを実施したことや、ブラジルのプライマリーバランスが政府目標をほぼ達成したことなどを背景に、リアル高・円安が優勢となりました。しかし、その後はトランプ米大統領によるメキシコなどへの関税発動を巡る発言を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアル安・円高が進みました。



当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレートン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2024年9月14日～2025年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
	2024年9月14日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月13日	2024年11月14日～ 2024年12月13日	2024年12月14日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月13日	2025年2月14日～ 2025年3月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.360%	15 0.358%	15 0.379%	15 0.372%	15 0.357%	15 0.372%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	831	844	854	868	881	892

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年9月14日～2025年3月13日)

項 目	第192期～第197期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 34	% 0.845	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(17)	(0.409)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.409)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.096	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.085)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(0)	(0.008)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	38	0.941	
作成期間の平均基準価額は、4,033円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

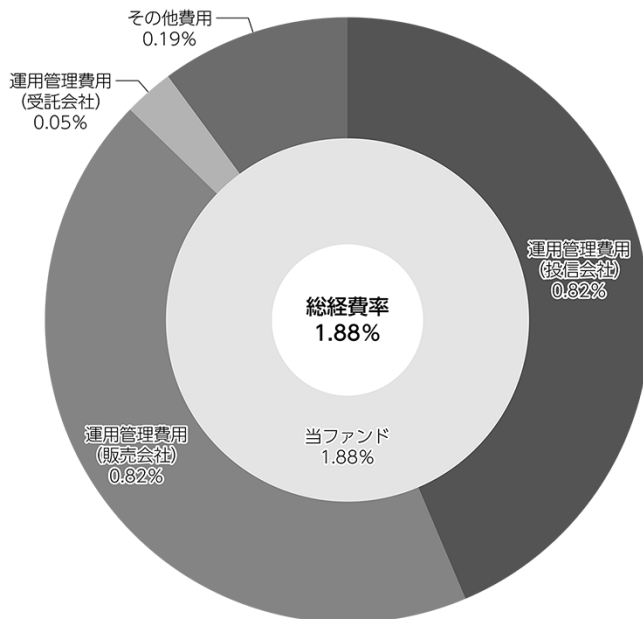
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月14日～2025年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第192期～第197期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 166,533	千円 404,172	千口 833,358	千円 2,009,987

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2024年9月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年9月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年3月13日現在)

親投資信託残高

銘柄	第191期末	第197期末	
	口数	口数	評価額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 8,017,143	千口 7,350,318	千円 17,901,701

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年3月13日現在)

項 目	第197期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンド	17,901,701	99.4
コール・ローン等、その他	103,881	0.6
投資信託財産総額	18,005,582	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(20,017,880千円)の投資信託財産総額(20,288,414千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=148.31円、1ブラジルリアル=25.5591円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末	第197期末
	2024年10月15日現在	2024年11月13日現在	2024年12月13日現在	2025年1月14日現在	2025年2月13日現在	2025年3月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	19,524,092,482	19,535,701,286	18,089,070,418	18,302,045,873	18,938,871,738	18,005,582,610
フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンド(附編)	19,503,534,932	19,512,150,664	18,062,653,623	18,292,066,514	18,913,340,197	17,901,701,098
未収入金	20,557,550	23,550,622	26,416,795	9,979,359	25,531,541	103,881,512
(B) 負債	119,725,480	119,752,885	121,026,783	105,259,748	119,107,421	194,663,878
未払収益分配金	70,122,049	69,691,075	68,266,835	68,027,530	67,403,824	66,571,235
未払解約金	20,557,550	23,550,622	26,416,795	9,979,359	25,531,541	103,881,512
未払信託報酬	28,653,345	26,172,219	26,020,997	26,916,859	25,843,978	23,855,951
その他未払費用	392,536	338,969	322,156	336,000	328,078	355,180
(C) 純資産総額(A-B)	19,404,367,002	19,415,948,401	17,968,043,635	18,196,786,125	18,819,764,317	17,810,918,732
元本	46,748,032,744	46,460,717,091	45,511,223,751	45,351,686,934	44,935,883,307	44,380,823,411
次期繰越損益金	△27,343,665,742	△27,044,768,690	△27,543,180,116	△27,154,900,809	△26,116,118,990	△26,569,904,679
(D) 受益権総口数	46,748,032,744口	46,460,717,091口	45,511,223,751口	45,351,686,934口	44,935,883,307口	44,380,823,411口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,151円	4,179円	3,948円	4,012円	4,188円	4,013円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 46,938,944,446円

当作成期中追加設定元本額 991,708,742円

当作成期中一部解約元本額 3,549,829,777円

作成期末における1口当たりの純資産額は0.4013円です。

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は26,569,904,679円であります。

○損益の状況

項 目	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
	2024年9月14日～ 2024年10月15日	2024年10月16日～ 2024年11月13日	2024年11月14日～ 2024年12月13日	2024年12月14日～ 2025年1月14日	2025年1月15日～ 2025年2月13日	2025年2月14日～ 2025年3月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	1,261,530,976	227,732,329	△ 956,382,136	386,772,358	882,755,099	△ 684,402,278
売買益	1,271,116,420	237,913,082	21,004,614	393,907,564	888,766,284	8,554,089
売買損	△ 9,585,444	△ 10,180,753	△ 977,386,750	△ 6,235,206	△ 6,011,185	△ 692,956,367
(B) 信託報酬等	△ 29,045,881	△ 26,511,188	△ 26,343,153	△ 27,252,859	△ 26,172,056	△ 24,211,131
(C) 当期繰損益金(A+B)	1,232,485,095	201,221,141	△ 982,725,289	359,519,499	856,583,043	△ 708,613,409
(D) 前期繰越損益金	△ 6,869,579,293	△ 5,645,120,833	△ 5,394,697,815	△ 6,397,407,912	△ 6,034,261,317	△ 5,160,887,046
(E) 追加信託差損益金	△21,636,449,495	△21,531,177,923	△21,097,490,177	△21,048,984,866	△20,871,036,892	△20,633,832,989
(配当等相当額)	(1,142,871,717)	(1,149,244,773)	(1,129,260,151)	(1,136,388,741)	(1,133,455,092)	(1,130,093,115)
(売買損益相当額)	(△22,779,321,212)	(△22,680,422,696)	(△22,226,750,328)	(△22,185,373,607)	(△22,004,491,984)	(△21,763,926,104)
(F) 計(C+D+E)	△27,273,543,693	△26,975,077,615	△27,474,913,281	△27,086,873,279	△26,048,715,166	△26,503,333,444
(G) 収益分配金	△ 70,122,049	△ 69,691,075	△ 68,266,835	△ 68,027,530	△ 67,403,824	△ 66,571,235
次期繰越損益金(F+G)	△27,343,665,742	△27,044,768,690	△27,543,180,116	△27,154,900,809	△26,116,118,990	△26,569,904,679
追加信託差損益金	△21,636,449,495	△21,531,177,923	△21,097,490,177	△21,048,984,866	△20,871,036,892	△20,633,832,989
(配当等相当額)	(1,143,288,697)	(1,149,633,559)	(1,129,347,385)	(1,136,689,383)	(1,133,643,951)	(1,130,395,369)
(売買損益相当額)	(△22,779,738,192)	(△22,680,811,482)	(△22,226,837,562)	(△22,185,674,249)	(△22,004,680,843)	(△21,764,228,358)
分配準備積立金	2,742,290,688	2,773,160,807	2,760,190,997	2,800,019,270	2,825,348,661	2,831,857,095
繰越損益金	△ 8,449,506,935	△ 8,286,751,574	△ 9,205,880,936	△ 8,905,935,213	△ 8,070,430,759	△ 8,767,928,785

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	157,535,883	130,397,750	115,096,399	128,531,268	125,592,223	118,432,701
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	1,143,288,697	1,149,633,559	1,129,347,385	1,136,689,383	1,133,643,951	1,130,395,369
(D) 分配準備積立金	2,654,876,854	2,712,454,132	2,713,361,433	2,739,515,532	2,767,160,262	2,779,995,629
分配対象収益額(A+B+C+D)	3,955,701,434	3,992,485,441	3,957,805,217	4,004,736,183	4,026,396,436	4,028,823,699
(1万円当たり収益分配対象額)	(846)	(859)	(869)	(883)	(896)	(907)
収 益 分 配 金	70,122,049	69,691,075	68,266,835	68,027,530	67,403,824	66,571,235
(1万円当たり収益分配金)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
1万円当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手続き分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<お知らせ>

該当事項はございません。

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第17期 決算日 2025年3月13日

(計算期間：2024年3月14日～2025年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」の第17期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2008年10月31日設定）
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
13期(2021年3月15日)	円 13,415		% △ 4.7	% 97.7	% —	百万円 32,984
14期(2022年3月14日)	16,047		19.6	97.9	—	28,484
15期(2023年3月13日)	20,137		25.5	98.8	—	24,983
16期(2024年3月13日)	26,170		30.0	98.1	—	25,682
17期(2025年3月13日)	24,355		△ 6.9	99.1	—	20,168

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期首) 2024年3月13日	円 26,170		% —	% 98.1	% —
3月末	26,679		1.9	98.0	—
4月末	27,175		3.8	99.0	—
5月末	26,839		2.6	98.6	—
6月末	26,211		0.2	98.6	—
7月末	24,490		△ 6.4	98.9	—
8月末	23,394		△10.6	99.5	—
9月末	24,033		△ 8.2	98.6	—
10月末	24,552		△ 6.2	99.2	—
11月末	23,194		△11.4	98.7	—
12月末	23,601		△ 9.8	98.0	—
2025年1月末	24,677		△ 5.7	99.5	—
2月末	24,339		△ 7.0	98.5	—
(期末) 2025年3月13日	24,355		△ 6.9	99.1	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年3月14日～2025年3月13日)



○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから公社債利金を手堅く確保したため、債券利回りが上昇（価格は下落）するなかでも債券要因はプラスとなったものの、ブラジルリアル安・円高を反映して為替損益がマイナスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが上昇しました。

期の前半は、ブラジル政府が基礎的財政収支（プライマリーバランス）の赤字解消の達成時期を1年先送りしたため、ブラジルの財政悪化懸念の高まりを背景に、利回りは上昇しました。また、ブラジル中央銀行（BCB）が2023年8月からの連続利下げを停止し、今後のインフレ見通しが一段と厳しくなるとの見方を示したことも、利回りの上昇要因となりました。

期の半ばは、BCBが約2年ぶりに利上げに転じ、その次の会合では利上げのペースを加速させたことから、利回りは一段と上昇しました。

期の後半は、BCBが大幅な利上げを実施したことに加え、ブラジルのアダジ財務相が今後数年間の公共支出削減計画や高所得者への増税を提案する一方、低所得層への所得税免除拡大も発表したことから、市場では財政健全化の取り組みに対して懐疑的な見方が広がったため、利回りは更に上昇しました。しかし、その後はブラジルの2024年のプライマリーバランスについて、国内総生産（GDP）比で大規模洪水の影響を除くと、税収の大幅な伸びにより政府目標をほぼ達成したとみられたことなどから、ブラジルの財政健全化に対する期待が高まると、利回りは低下（価格は上昇）しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、ブラジル政府がプライマリーバランスの赤字解消の達成時期を1年先送ったため、ブラジルの財政悪化懸念の高まりを背景に、リアル安・円高が優勢となりました。一方、日銀が2024年4月の金融政策決定会合で追加利上げを見送ったことが、リアル高・円安の要因となりました。

期の半ばは、7月末の日銀の金融政策決定会合で利上げの可能性が高まるなか、リアルは対円で大きく下落しました。また、実際に利上げが実施された同会合の会見で植田日銀総裁が追

ブラジル国債（2年物）利回りの推移



ブラジルリアル／円レートの推移



加利上げについて言及すると、レアルは対円で一段と下落しました。しかし、その後はBCBの利上げや格付け会社によるブラジルの格上げなどを背景に、レアル高・円安が優勢となりました。

期の後半は、ブラジル政府による低所得層への所得税免除拡大の発表を受けて、ブラジルの財政健全化に対する懸念が強まるなか、レアル安・円高が進みました。しかし、その後はBCBが大幅な利上げを実施したことや、ブラジルのプライマリーバランスが政府目標をほぼ達成したことなどを背景に、レアル高・円安が優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年3月14日～2025年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 44 (44)	% 0.175 (0.175)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	44	0.175	
期中の平均基準価額は、24,932円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年3月14日～2025年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 606,718	千ブラジルリアル 676,081 (49,550)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年3月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	700,850	782,085	19,989,403	99.1	99.1	—	—	99.1
合 計	700,850	782,085	19,989,403	99.1	99.1	—	—	99.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
			—	7,350	118,902	3,039,034	2026/3/1
			—	61,000	58,671	1,499,582	2025/7/1
			—	222,000	205,985	5,264,802	2025/10/1
			—	400,000	358,113	9,153,062	2026/1/1
		10.0	1,500	1,399	35,779	2027/1/1	2027/1/1
		6.0	9,000	39,013	997,142	2026/8/15	
合 計						19,989,403	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	19,989,403	98.5
コール・ローン等、その他	299,011	1.5
投資信託財産総額	20,288,414	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(20,017,880千円)の投資信託財産総額(20,288,414千円)に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=148.31円、1ブラジルレアル=25.5591円です。

○特定資産の価格等の調査

(2024年3月14日～2025年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,288,414,127
コール・ローン等	298,260,688
公社債(評価額)	19,989,403,053
未収利息	228,886
前払費用	521,500
(B) 負債	119,858,869
未払解約金	119,858,869
(C) 純資産総額(A-B)	20,168,555,258
元本	8,281,138,054
次期繰越損益金	11,887,417,204
(D) 受益権総口数	8,281,138,054口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,355円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	9,813,862,595円
期中追加設定元本額	435,160,515円
期中一部解約元本額	1,967,885,056円
期末における1口当たりの純資産額は2.4355円です。	

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンブルトン・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	7,350,318,661円
フランクリン・テンブルトン・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	930,819,393円

○損益の状況 (2024年3月14日～2025年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,040,442,328
受取利息	2,040,446,918
支払利息	△ 4,590
(B) 有価証券売買損益	△ 3,685,325,604
売買益	109,657,673
売買損	△ 3,794,983,277
(C) 保管費用等	△ 39,517,670
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,684,400,946
(E) 前期繰越損益金	15,868,981,964
(F) 追加信託差損益金	673,982,482
(G) 解約差損益金	△ 2,971,146,296
(H) 計(D+E+F+G)	11,887,417,204
次期繰越損益金(H)	11,887,417,204

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。